

認知症の人と家族を支えるためにできること

認知症の人は記憶障害や認知障害から不安になり、その結果周りの人との関係が損なわれたり、家族が介護で疲れきってしまうことがあります。しかし周囲の理解と気遣いがあれば、認知症の人や家族は地域で安心して暮らすことができます。

認知症サポーターになりましょう

認知症サポーターは、認知症について正しく理解し、認知症の人や家族を温かく見守る応援者です。何か特別なことをするわけではなく、認知症の人や家族をできる範囲でさりげなく支援します。例えば、次のようなことも認知症サポーターとしてできることです。

家庭・職場で

認知症についての正しい知識を家族や同僚に伝え、できることを考えてみる

地域で

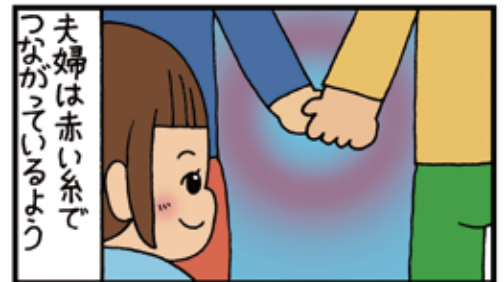
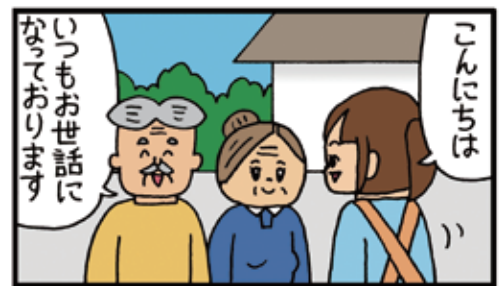
介護で疲れた様子の家族に、ねぎらいの言葉をかける

町の中で

不安そうにしている高齢者を見かけたら「お困りですか」など声をかける



「認知症サポーター」



認知症サポーターになるには

「認知症サポーター養成講座」(1時間～1時間半程度)を受講すればどなたでもなれます。認知症の原因や症状、認知症の人への対応の仕方など認知症の基礎知識をわかりやすく学びます。

講座を受講した方にはその証として「オレンジリング」をお渡ししています。



認知症サポーター養成講座

「認知症サポーター養成講座」は市町村で開催しています。また県では企業・団体を対象とした「認知症サポーター養成講座」を開催しています。お近くの市町村の地域包括支援センター(14ページ)または高知県高齢者福祉課(電話 088-823-9627)までお気軽にお問合せください。